

FKEY クラウド

クラウドで簡単にネットワーク分離を実現

目次

1. FKEY クラウドとは.....	1
2. FKEY クラウドの特徴.....	1
【低コストで導入可能】.....	1
【高セキュリティな分離環境】.....	1
【セキュア・ブラウザ機能とセキュア・デスクトップ機能】.....	2
【幅広い OS や端末に対応】.....	2
3. 利用シーン.....	2
利用シーン A 「総務省・文科省ガイドラインに則したネットワーク分離」.....	2
利用シーン B 「業務システムへのマルウェア感染のブロック」.....	3
利用シーン C 「ユーザー所有デバイスへのマルウェア感染のブロック」.....	4
4. 製品仕様.....	4
5. お問い合わせ.....	5
6. 商標等について.....	5
商標について.....	5
OPENSSL ソフトウェアについて.....	5

1. FKEY クラウドとは

FKEY クラウドは、安心・安全なアクセスポイントを提供するための、仮想化技術を応用したクラウド型ネットワーク分離環境を構築するサービスです。FKEY クラウドは、応用電子のクラウド・ゲートウェイ仮想サーバー特許（特許第 5102898 号）を応用し、クラウド上でユーザーごとに起動する仮想サーバーを経由してインターネットに接続する仕組みです。

ユーザーのデバイスとインターネットの間に FKEY クラウドが挟まることにより、ネットワークを分離します。FKEY クラウドを経由して、スマートデバイス、ラップトップ、デスクトップなどいずれの種類の端末からでも、社内サーバー・デスクトップや外部のクラウドサービスなどに安全に接続することができます。

ランサムウェアや標的型攻撃の対策として総務省、IPA、文科省などは、業務端末をインターネット環境から分離するよう推奨しています。このネットワーク分離を簡単に提供するサービスが FKEY クラウドです。契約するだけで使える FKEY クラウドの導入で、業務端末からインターネットへの安全なアクセスや、テレワーク・モバイルワークを安心して推進できます。



2. FKEY クラウドの特徴

【低コストで導入可能】

FKEY クラウドは、クラウド型ネットワーク分離環境を構築するサービスです。ハードウェアの購入が不要で、1 ユーザーから契約するだけで使用できるため、低コストで導入が可能です。

【高セキュリティな分離環境】

FKEY クラウドは、仮想サーバーによるネットワーク分離技術を利用して、各ユーザーの端末と業務システムや外部クラウドサービスなどとの接続を分離し、高セキュリティな利用環境を実現します。

FKEY クラウドと端末の間ではディスクへのアクセスが制限されているため、マルウェア感染や情報漏洩へのリスクを低減しながら業務用システムなどにアクセスすることができます。

FKEY クラウドの仮想サーバーは、ユーザー端末から切断されると一定時間で自動的に再起動します。そのため、ユーザーが利用している FKEY クラウドの仮想サーバーに万が一マルウェアが侵入した場合も、端末を切断することで再起動され OS が初期状態に戻り、OS 上のマルウェアは自動的に消去されます。

【セキュア・ブラウザ機能とセキュア・デスクトップ機能】

FKEY クラウドの分離環境では、「セキュア・ブラウザ」と「セキュア・デスクトップ」の2つの機能が使え、マルウェアの影響を受けない安全なアクセスを実現します。

セキュア・ブラウザでブラウズ中に悪意のあるウェブサイトへ誘導された場合も、業務端末は安全に保たれます。また、テレワークなどで自宅 PC がマルウェアに感染してしまった場合も、セキュア・デスクトップからのアクセスなら社内システムは安全に保たれます。

【幅広い OS や端末に対応】

FKEY クラウドは、Windows/Mac/iOS/Android の端末に対応しています。Windows の場合は PC に追加ソフトのインストールなしでアクセス可能です。

3. 利用シーン

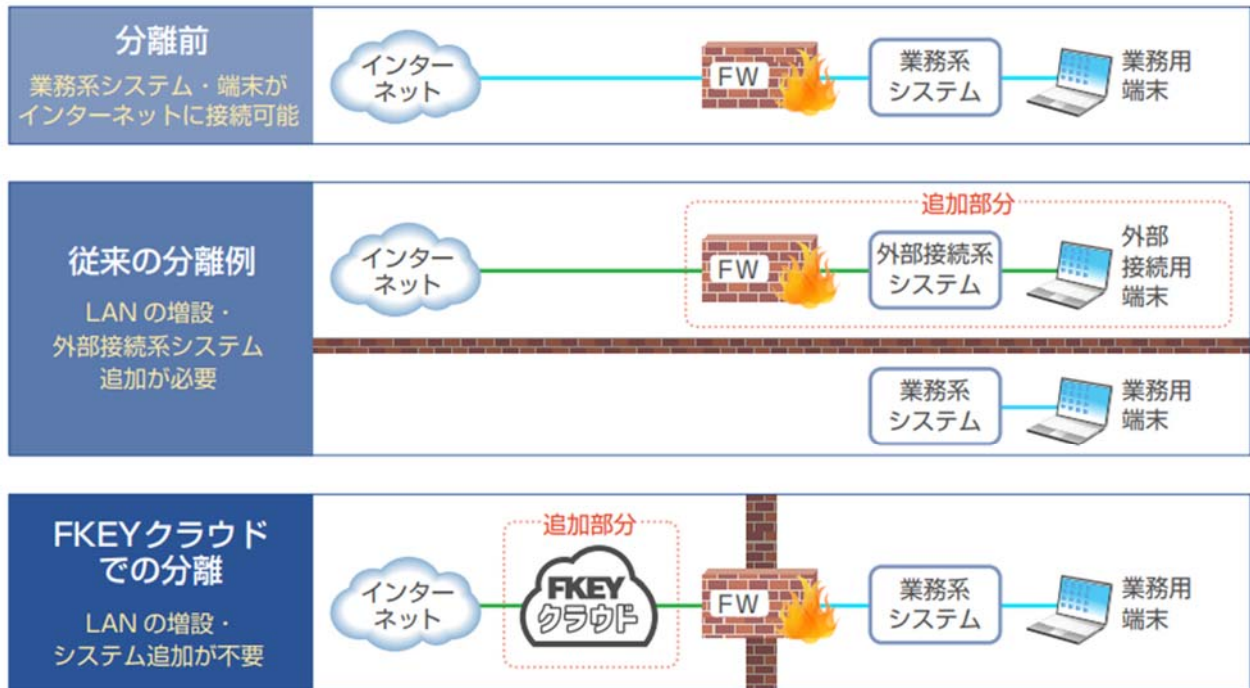
利用シーン A 「総務省・文科省ガイドラインに則したネットワーク分離」

巧妙化する標的型攻撃への対策として、自治体は総務省の「自治体情報システム強靱性向上モデル」を、教育機関は文科省の「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」への対応が求められています。

これらのガイドラインでは、業務系とインターネット系のネットワーク分離を強く推奨していますが、従来のシステム構築方法では LAN の増設や仮想デスクトップ環境の導入など、さまざまな新規設備投資が必要となります。

FKEY クラウドは、既存のシステムを生かすことにより、新規の社内サーバーの設置や LAN 増設などの設備投資をすることなく業務環境とインターネットの分離環境を簡単に迅速に実現します。

FKEYクラウドでのネットワーク分離



利用シーン B 「業務システムへのマルウェア感染のブロック」

BYOD (Bring Your Own Device: ユーザー自身が個人所有するデバイスの業務利用) によるテレワーク・モバイルワーク環境を構築する際、ユーザーが個人で所有する端末と自社サーバーとの通信に FKEY クラウドが挟まることで直接のアクセスが制限されます。このため、リモート環境から多数のユーザーがアクセスしてもマルウェア感染や情報漏洩がブロックされ、業務用システムを安全に保つことができます。

自宅・モバイル端末から社内の業務環境に安全にアクセス



利用シーン C 「ユーザー所有デバイスへのマルウェア感染のブロック」

BYOD によりテレワーク・モバイルワーク環境を利用する際に、ユーザー自身が保有するラップトップやスマートフォンなどのデバイスと各種クラウドサービスとの通信に FKEY クラウドが挟まることで、直接のアクセスが制限されます。このため、マルウェア感染や情報漏洩がブロックされ、ユーザー所有のデバイスを安全に保つことができます。



4. 製品仕様

	FKEY クラウド
認証方式	パスフレーズ認証
対応クライアント	リモートデスクトップ接続(Windows7/8.1/10) FKEY SConnect RDP プロトコル対応クライアント(Mac OS/iOS/Android)
社内接続用 VPN	Cisco Systems, ASA 5500-X Series Next-Generation Firewalls (Cisco AnyConnect SSL-VPN, IPsec) FortiGate L2TP/IPsec
社内仮想デスクトップ	Windows Remote Desktop Service (RDP) Citrix XenApp / XenDesktop (ICA) VMware Horizon

Web ブラウザ	○
簡単接続	○
管理者ツール	○

※上記は 2018 年 5 月現在の対応予定です。内容は予告なしに変更する場合がございます。

5. お問い合わせ

- 電話でのお問い合わせ：ソフトウェア製品部 吉永 03-5888-4015
- WEB での[お問い合わせ](#)

6. 商標等について

商標について

Android は、Google Inc. の、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の、IOS、AnyConnect および ASA 5500 Series は米国 Cisco Systems, Inc.の、Windows は米国 Microsoft Corporation の、XenApp および XenDesktop は米国 Citrix Systems, Inc.の、VMware は米国 VMware, Inc の登録商標または商標です。

OpenSSL ソフトウェアについて

この製品は OpenSSL ツールキットを利用するために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアを含んでおります。